

水の館シリーズ1『水循環と生活』

あらゆる生き物の命を支える水。時として慈母のように、時には厳父のように私たちに振る舞う地球の水。太古の昔から私たちの身近に在りながらこれを真剣に考えようとしなかった私たちに、今、水はその存在の有難さ、力強さ、もったいなさ、また逆にその恐ろしさなど、本質をもっと考えて理解するよう求めているように思えてなりません。

特に、地勢的に、水の厳しさが痛感される離島では、有難さの数倍もその非情さに苦しめられることが度々経験されます。数多くの有人離島を抱える沖縄県でも、昔から有難さと厳しさを他の地方の数倍も感得させられ、その対応にいろいろと工夫が重ねられ「水に関する文化」ともいべき素養が育ってきました。

島人の個人レベルの努力をはじめ、宮古島の地下ダムにみるような大規模な人知の成果を総括的に眺め渡し、今一度離島における水に対する私たちの対応の仕方、天与の水の受け止めかた、その使い方、その流し方を一連の水循環として総合的に捉え、長年琉球列島で培われた水文化と水処理の技術を再検討し、世界に発信するための拠点づくりに向けたフォーラムを開催します。

『多くの人に世界の水事情と沖縄にできることを知ってもらう』ことが目的

- * テーマ： 水の館シリーズ1 『水循環と生活』
- * 日時： 平成28年8月6日（土）14：00～17：00
- * 場所： 沖縄県立博物館・美術館：2階ホール
- * 参加者： 沖縄県、市町村、観光関連企業、水技術関連企業、一般県民

<特別講演>

- * 1 「水の館を沖縄に」 ～～～賀川健二沖縄・島水研究会事務局長
- * 2 「普天間の琉球石灰岩台地の水がつなぐまちづくり」 ～～～小野尋子琉球大学準教授
- * 3 「山の水がビールになるまで」 ～～～新垣昌光オリオンビール副社長

<フォーラム参加者>

- * コーディネーター挨拶：池田孝之琉球大学名誉教授
- * 吉田朝啓沖縄・島水研究会会長「水のあれこれ」
- * 渡久山章琉球大学名誉教授「宮古島の水の戦い」
- * 渡久地朝央沖縄国際大学講師「水と島民生活」
- * 特別講演者3名

<シンポジウム>

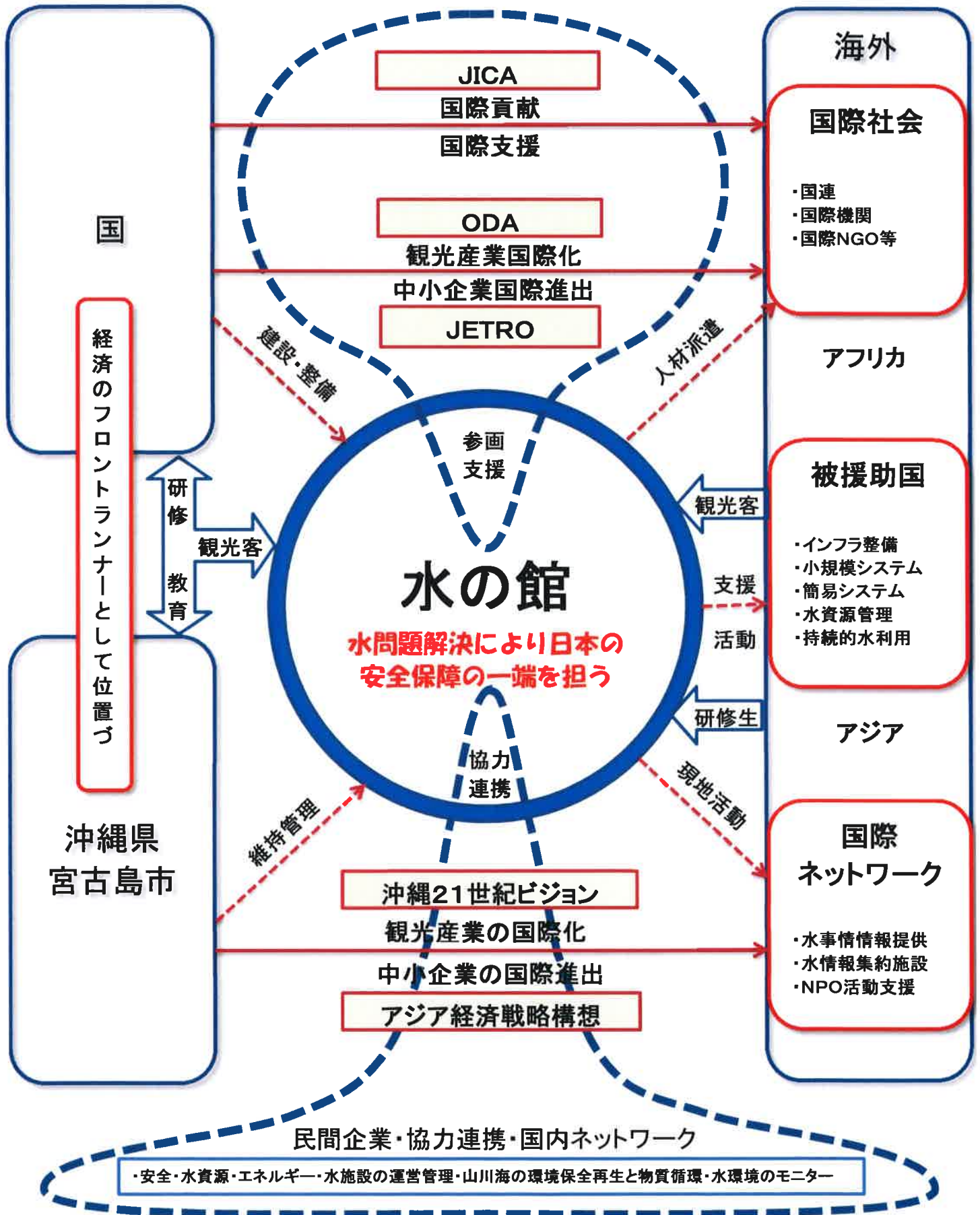
主催： 「沖縄島水研究会」（代表；吉田朝啓）

後援： 沖縄県（企業局）、JICA沖縄、沖縄コンベンションビューロー、県内マスコミ、
沖縄県経営者協会、環境科学センター（赤字は未定）

協賛： オリオンビール株式会社、(株)沖縄ダイケン、NPO法人おきなわ環境クラブ

水の館(水総合科学研究所)設立へ

位置づけ



参考資料: 水の安全保障戦略機構 (チーム水・日本)